

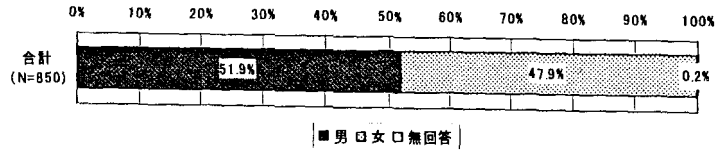
6.9 患者の状況(2)【患者調査票（脳血管疾患等リハビリテーション）】

(1) 基本情報

1) 患者の性別

患者の性別についてみると、「男性」が51.9%、「女性」が47.9%となっている。

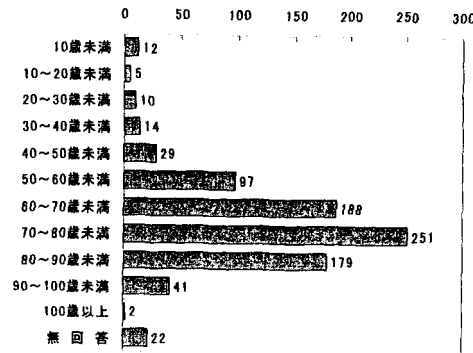
図表 6.9-1 患者の性別



2) 患者の年齢（平成18年12月1日時点）

患者の年齢についてみると、「70～80歳未満」が251名で最も多く、次いで「60～70歳未満」が188名となっている。

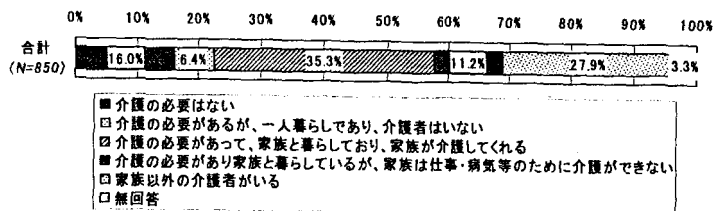
図表 6.9-2 患者の年齢(N=850)



3) 本人又は家族が判断した介護の必要性

本人又は家族が判断した介護の必要性についてみると、「介護の必要があって、家族と暮らしており、家族が介護してくれる」(35.3%)が最も多く、次いで、「家族以外の介護者がいる」(27.9%)となっている。

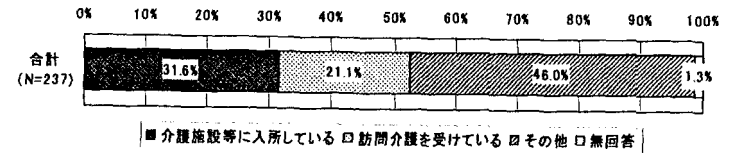
図表 6.9-3 介護の状態



4) (家族以外の介護者がいる場合の)介護保険の利用状況

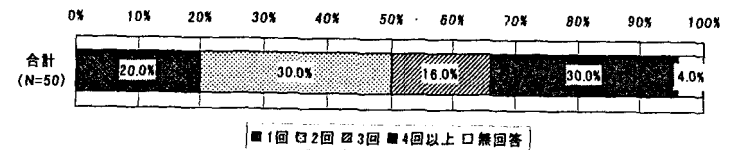
(家族以外の介護者がいる場合の)介護保険の利用状況についてみると、「介護施設等に入所している」(31.6%)が最も多く、次いで、「訪問介護を受けている」(21.1%)となっている。

図表 6.9-4 介護保険の利用状況



訪問介護の回数についてみると、「2回」(30.0%)「4回以上」(30.0%)が最も多くなっている。

図表 6.9-5 訪問介護の回数

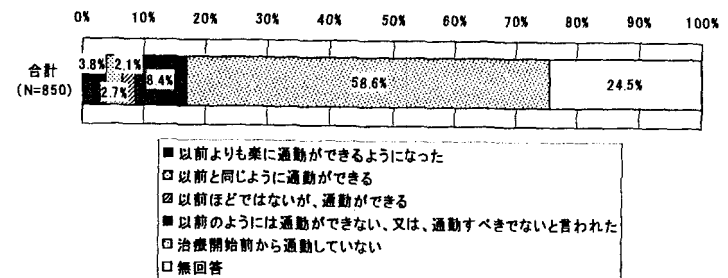


(2) リハビリテーションを始めたときの生活と現在の状況との比較

1) 通勤について

通勤についてみると、「治療開始前から通勤していない」(58.6%)が最も多く、次いで、「以前のように通勤ができない、又は、通勤すべきでないとされた」(8.4%)となっている。

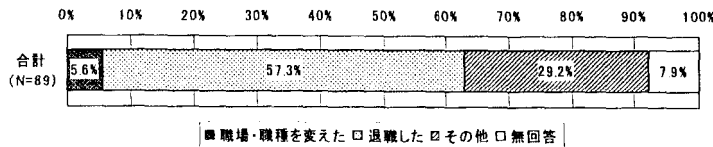
図表 6.9-6 通勤について



2) (通勤の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

1)で「以前ほどではないが、通勤ができる」または「以前のように通勤ができない、又は、通勤すべきでないと言われた」と回答した患者のうち、通勤の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「退職した」(57.3%)が最も多く、「職場・職種を変えた」(5.6%)となっている。

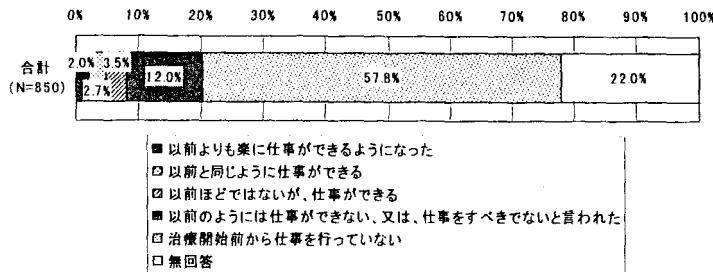
図表 6.9-7 (通勤の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容



3) 仕事について

仕事についてみると、「治療開始前から仕事をやっていない」(57.8%)が最も多く、次いで、「以前のように仕事ができない、又は、仕事をすべきでないと言われた」(12.0%)となっている。

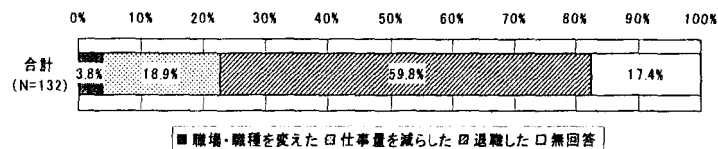
図表 6.9-8 仕事について



4) (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

3)で「以前ほどではないが、仕事ができる」または「以前のように仕事ができない、又は、仕事をすべきでないと言われた」と回答した患者のうち、仕事の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「退職した」(59.8%)が最も多く、次いで、「仕事を減らした」(18.9%)となっている。

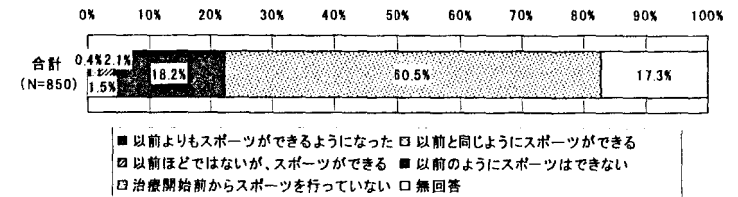
図表 6.9-9 (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容



5) スポーツについて

スポーツについてみると、「治療開始前からスポーツを行っていない」(60.5%)が最も多く、次いで、「以前のようにスポーツはできない」(18.2%)となっている。

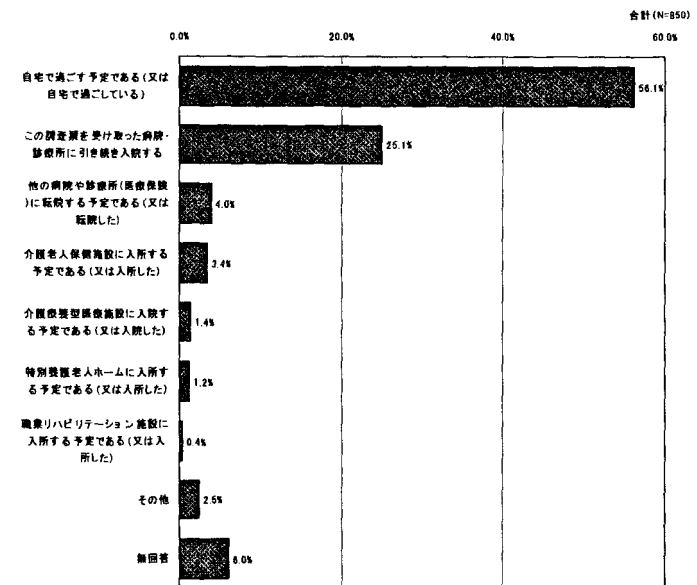
図表 6.9-10 スポーツについて



(3) 今後予定している生活場所

今後予定している生活場所(又は現在生活している場所)についてみると、「自宅で過ごす予定である(又は自宅で過ごしている)」(56.1%)が最も多く、次いで、「この調査票を受け取った病院・診療所に引き続き入院する」(25.1%)となっている。

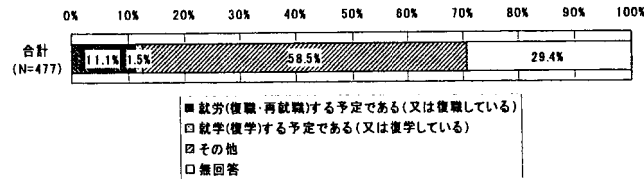
図表 6.9-11 今後予定している生活場所



1) (自宅でご過す場合) 復職・復学の予定 (複数回答)

自宅でご過す場合の復職・復学の予定についてみると、「就労(復職・再就職)する予定である(又は復職している)」(11.1%)が最も多く、次いで、「就学(復学)する予定である(又は復学している)」(1.5%)となっている。

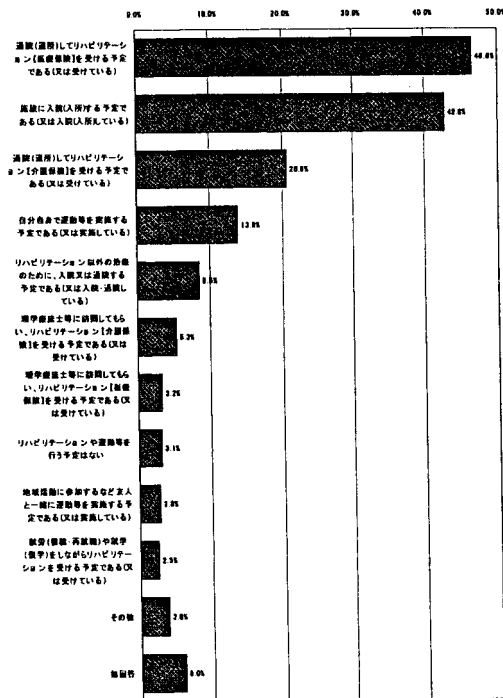
図表 6.9-12 (自宅でご過す場合) 復職・復学の予定



(4) 今後予定しているリハビリテーション等 (複数回答)

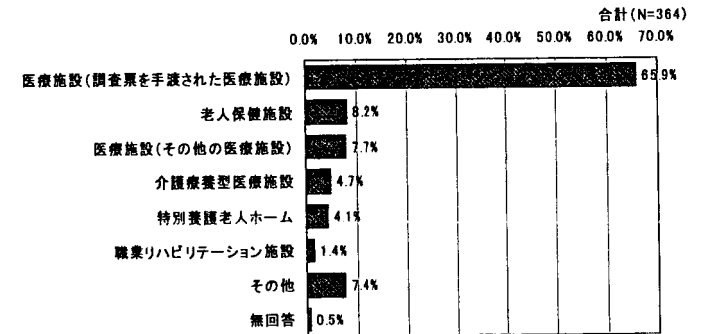
今後予定している(又は受けている)リハビリテーション等についてみると、「通院(通所)してリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」(46.6%)が最も多く、次いで、「施設に入院(入所)する予定である(又は入院(入所)している)」(42.8%)となっている。

図表 6.9-13 今後予定しているリハビリテーション等

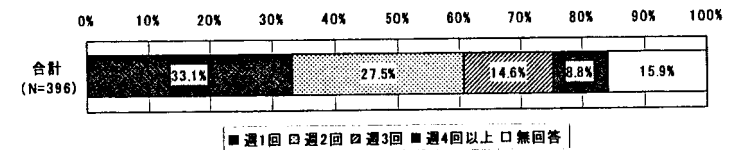


施設に入院する予定の場合の今後予定している(又は受けている)リハビリテーション等についてみると、「医療施設(調査票を手渡された医療施設)」(65.9%)が最も多く、次いで、「老人保健施設」(8.2%)となっている。

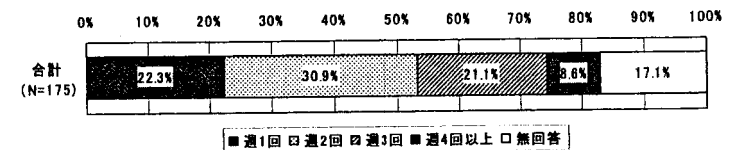
図表 6.9-14 今後予定しているリハビリテーション等(施設に入院する予定)



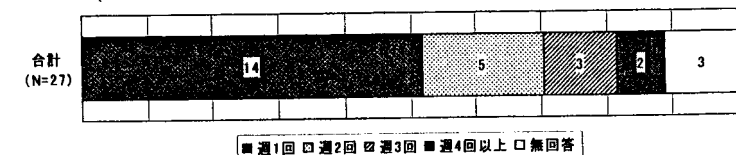
図表 6.9-15 「通院(通所)してリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



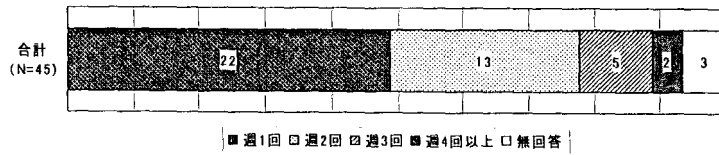
図表 6.9-16 「通院(通所)してリハビリテーション【介護保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



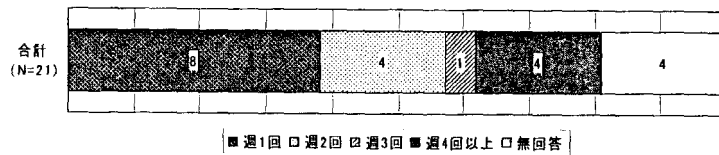
図表 6.9-17 理学療法士に訪問してもらいリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



図表 6.9-18 理学療法士に訪問してもらいリハビリテーション【介護保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



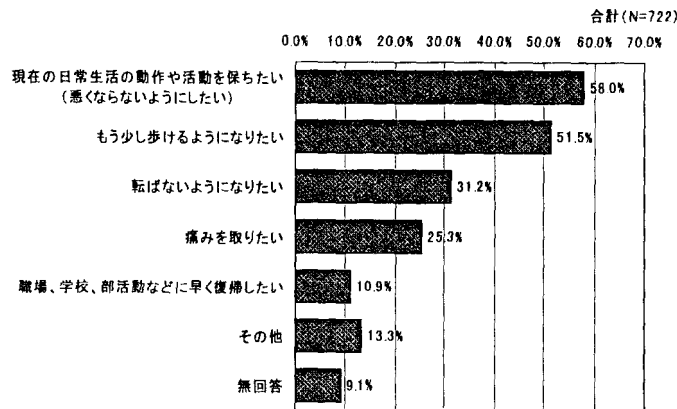
図表 6.9-19 「就労(復職・再就職) や就学(復学)をしながらリハビリテーションを受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



1) (医療保険または介護保険のリハビリテーションを受ける(又は受けている)予定の場合) リハビリテーションに望むこと (複数回答)

(医療保険または介護保険のリハビリテーションを受ける(又は受けている)予定の場合) リハビリテーションに望むことについては「現在の日常生活の動作や活動を保ちたい(悪くならないようにしたい)」(58.0%)が最も多く、次いで「もう少し歩けるようになりたい」(51.5%)となっている。

図表 6.9-20 リハビリテーションに望むこと



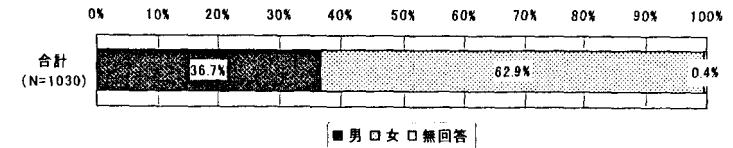
6.10 患者の状況(2)【患者調査票(運動器リハビリテーション)】

(1) 基本情報

1) 患者の性別

患者の性別についてみると、「女性」(62.9%)が最も多く、次いで、「男性」(36.7%)となっている。

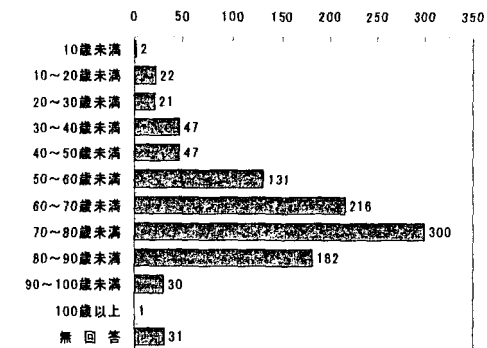
図表 6.10-1 患者の性別



2) 患者の年齢(平成18年12月1日時点)

患者の年齢についてみると、「70~80歳未満」が300名で最も多く、次いで「60~70歳未満」が216名となっている。

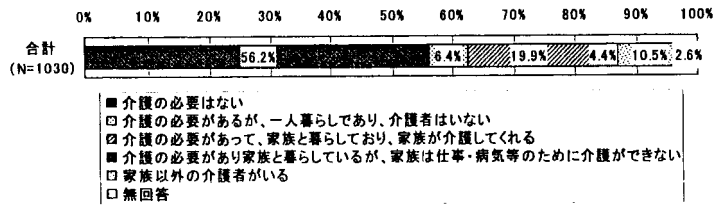
図表 6.10-2 患者の年齢 (N=1030)



3) 介護の状態

介護の状態についてみると、「介護の必要はない」(56.2%)が最も多く、次いで、「介護の必要があって、家族と暮らしており、家族が介護してくれる」(19.9%)となっている。

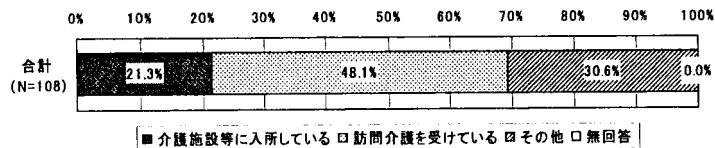
図表 6.10-3 介護の状態



4) (家族以外の介護者がいる場合の) 介護保険の利用状況

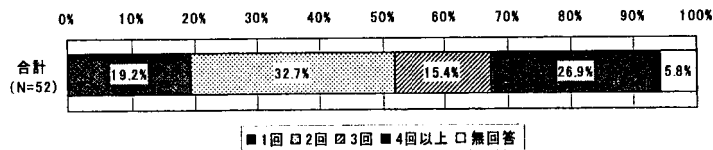
家族以外の介護者がいる場合の介護保険の利用状況についてみると、「その他」を別にする「訪問介護を受けている」(48.1%)が最も多く、次いで、「介護施設等に入所している」(21.3%)となっている。

図表 6.10-4 介護保険の利用状況



訪問介護の回数についてみると、「2回」(32.7%)が最も多く、次いで、「4回以上」(26.9%)となっている。

図表 6.10-5 訪問介護の回数

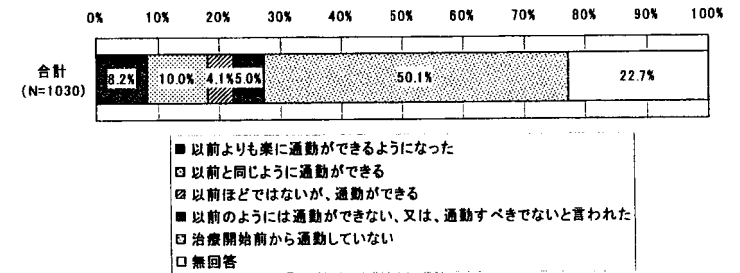


(2) リハビリテーションを始めたときの生活と現在の状況との比較

1) 通勤について

通勤についてみると、「治療開始前から通勤していない」(50.1%)が最も多く、次いで、「以前と同じように通勤ができる」(10.0%)となっている。

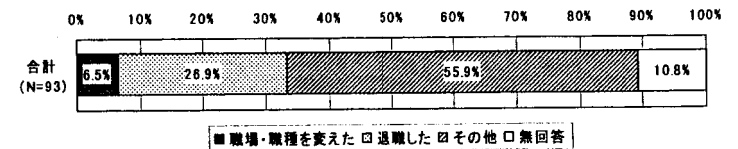
図表 6.10-6 通勤について



2) (通勤の状況に変化がある場合) 具体的な変化の内容

1)で「以前ほどではないが、通勤ができる」または「以前のように通勤ができない、又は、通勤すべきでないと言われた」と回答した患者のうち、通勤の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「その他」を別にする「退職した」(26.9%)が最も多く、「職場・職種を変えた」(6.5%)となっている。

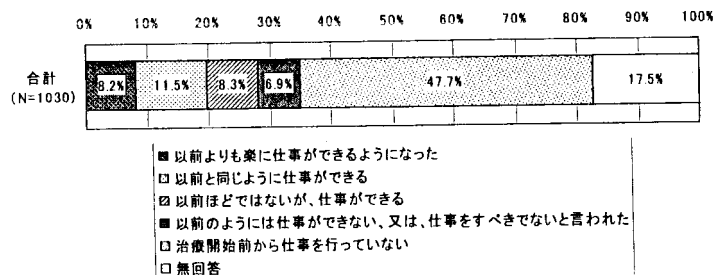
図表 6.10-7 (通勤の状況の変化がある場合) 具体的な変化の内容



3) 仕事について

仕事についてみると、「治療開始前から仕事を行っていない」(47.7%)が最も多く、次いで、「以前と同じように仕事ができる」(11.5%)となっている。

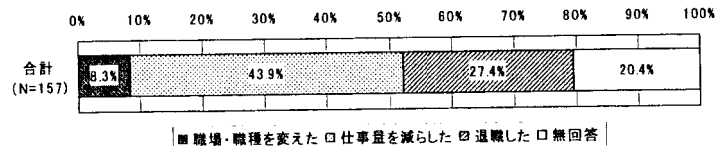
図表 6.10-8 仕事について



4) (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

3)で「以前ほどではないが、仕事ができる」または「以前のように仕事ができない、又は、仕事をすべきでないと言われた」と回答した患者のうち、仕事の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「仕事量を減らした」(43.9%)が最も多く、次いで、「退職した」(27.4%)となっている。

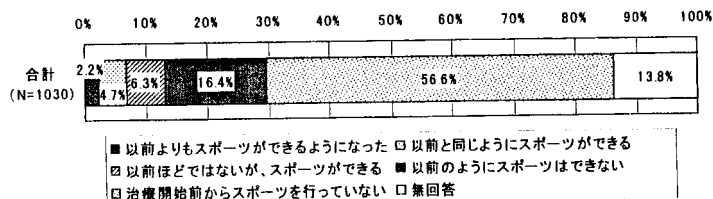
図表 6.10-9 (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容



5) スポーツについて

スポーツについてみると、「治療開始前からスポーツを行っていない」(56.6%)が最も多く、次いで、「以前のようにスポーツはできない」(16.4%)となっている。

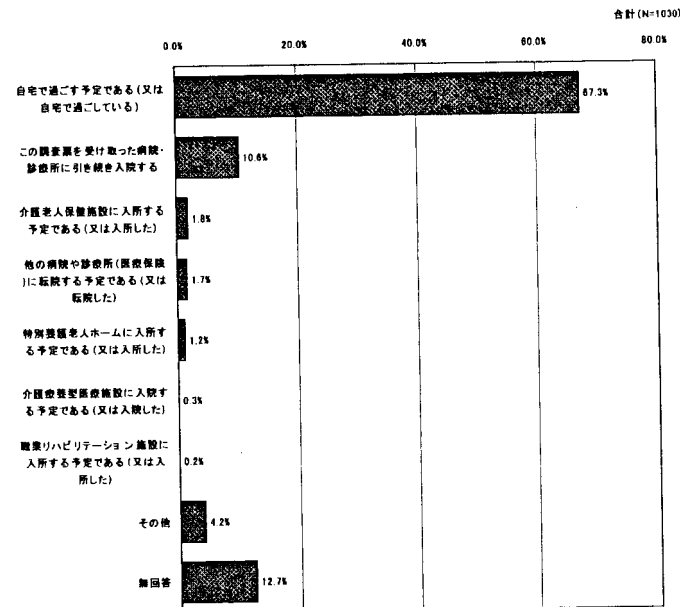
図表 6.10-10 スポーツについて



(3) 今後予定している生活場所

今後予定している生活場所(又は現在生活している場所)についてみると、「自宅で過ごす予定である(又は自宅で過ごしている)」(67.3%)が最も多く、次いで、「この調査票を受け取った病院・診療所に引き続き入院する」(10.6%)となっている。

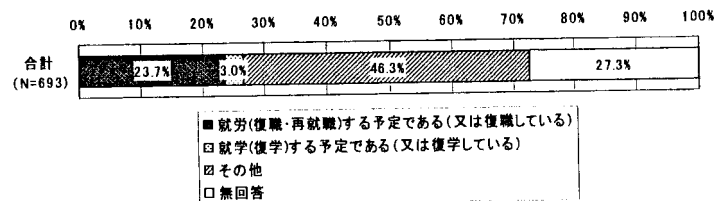
図表 6.10-11 今後予定している生活場所



1) (自宅で過ごす場合)復職・復学の予定(複数回答)

自宅で過ごす場合の復職・復学の予定についてみると、「その他」を別にするると「就労(復職・再就職)する予定である(又は復職している)」(23.7%)が最も多く、次いで、「就労(復学)する予定である(又は復学している)」(3.0%)となっている。

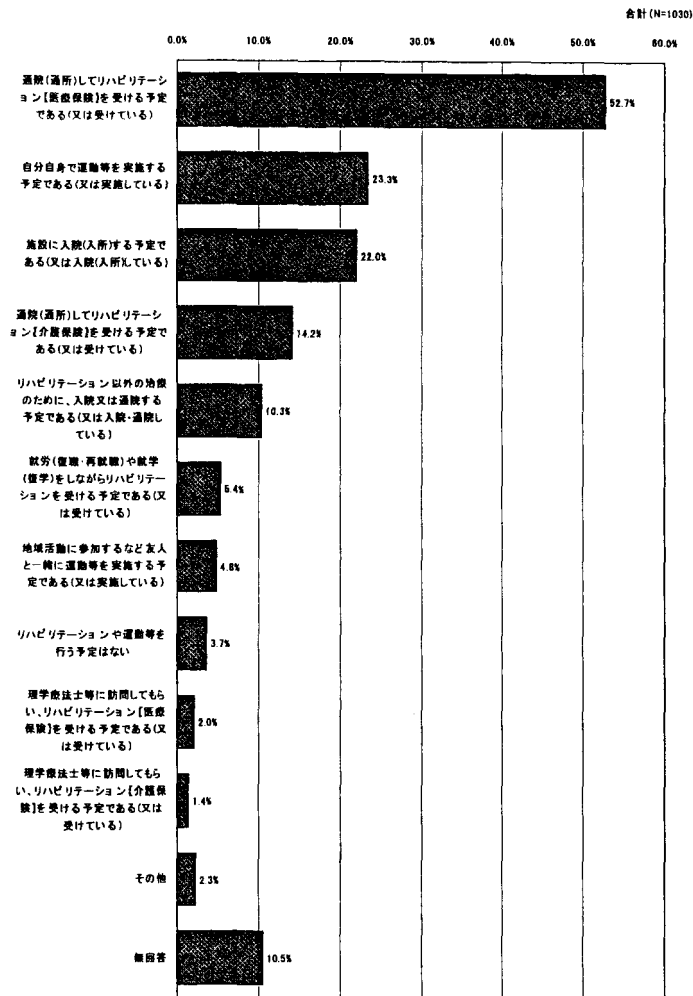
図表 6.10-12 (自宅で過ごす場合)復職・復学の予定



(4) 今後予定しているリハビリテーション等（複数回答）

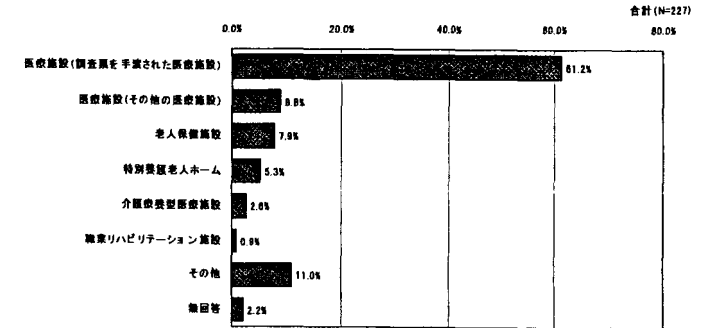
今後予定している（又は受けている）リハビリテーション等についてみると、「通院（通所）してリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である（又は受けている）」（52.7%）が最も多く、次いで、「自分自身で運動等を実施する予定である（又は実施している）」（23.3%）となっている。

図表 6.10-13 今後予定しているリハビリテーション等

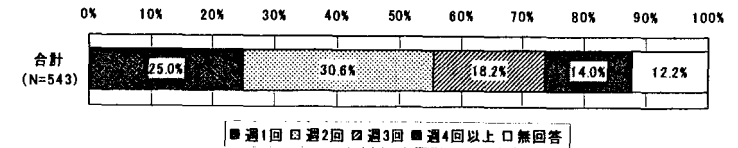


施設に入院する予定の場合の今後予定している（又は受けている）リハビリテーション等についてみると、「その他」を別けると「医療施設（調査票を手渡された医療施設）」（61.2%）が最も多く、次いで、「医療施設（その他の医療施設）」（8.8%）となっている。

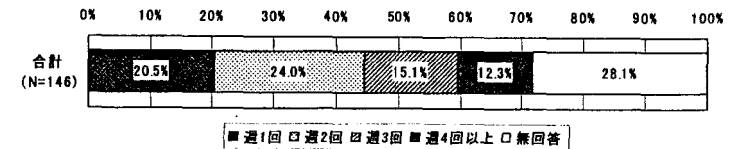
図表 6.10-14 今後予定しているリハビリテーション等（施設に入院する予定）



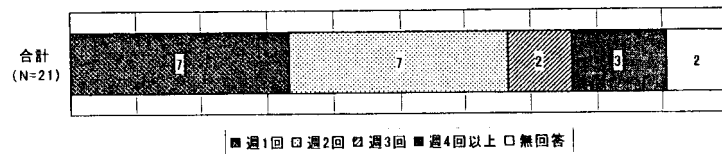
図表 6.10-15 「通院(通所)してリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



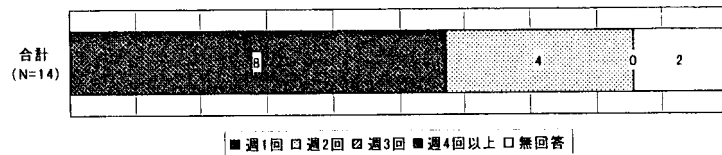
図表 6.10-16 「通院(通所)してリハビリテーション【介護保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



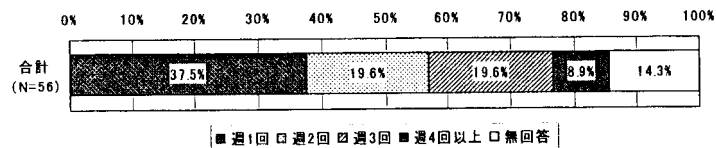
図表 6.10-17 「理学療法士等に訪問してもらいリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



図表 6.10-18 「理学療法士等に訪問してもらいリハビリテーション【介護保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数

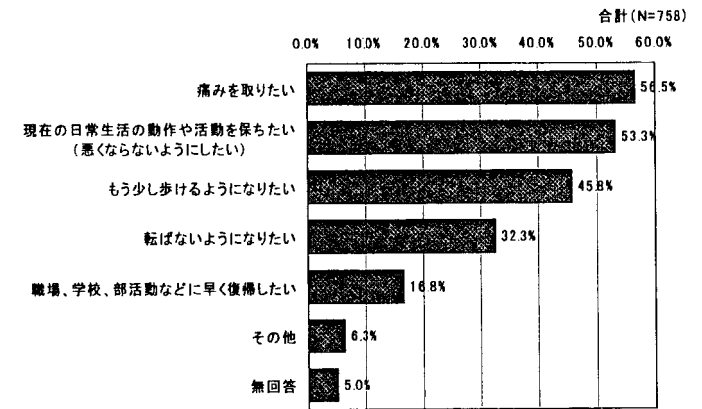


図表 6.10-19 「就労(復職・再就職) や就学(復学)をしながらリハビリテーションを受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



1) (医療保険または介護保険のリハビリテーションを受ける(又は受けている)予定の場合)リハビリテーションに望むこと(複数回答)
 リハビリテーションの望むことについてみると、「痛みを取りたい」(56.5%)が最も多く、次いで、「現在の日常生活の動作や活動を保ちたい(悪くならないようにしたい)」(53.3%)となっている。

図表 6.10-20 リハビリテーションに望むこと



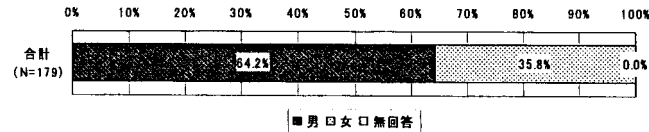
6.11 患者の状況(2)【患者調査票（呼吸器リハビリテーション）】

(1) 基本情報

1) 患者の性別

患者の性別についてみると、「男性」（64.2%）が最も多く、次いで、「女性」（35.8%）となっている。

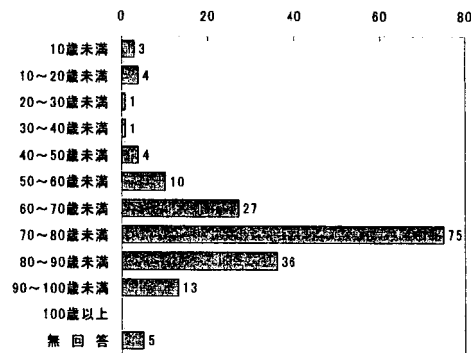
図表 6.11-1 患者の性別



2) 患者の年齢（平成 18 年 12 月 1 日時点）

患者の年齢についてみると、「70～80歳未満」が75名で最も多く、次いで「80～90歳未満」が36名となっている。

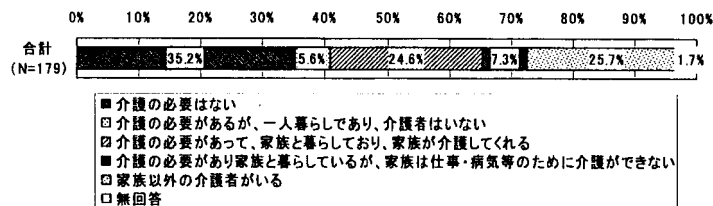
図表 6.11-2 患者の年齢（N=179）



3) 本人又は家族が判断した介護の必要性

本人又は家族が判断した介護の必要性についてみると、「介護の必要はない」（35.2%）が最も多く、次いで、「家族以外の介護者がいる」（25.7%）、「介護の必要があつて、家族と暮らしており、家族が介護してくれる」（24.6%）となっている。

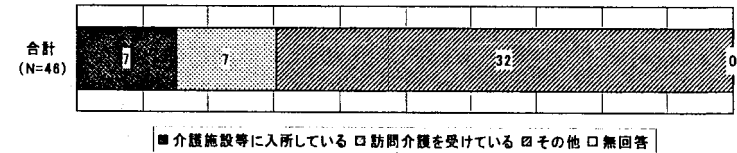
図表 6.11-3 介護の状態



4) （家族以外の介護者がいる場合の）介護保険の利用状況

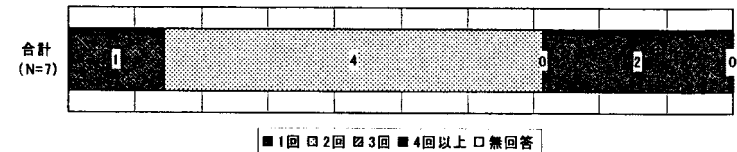
家族以外の介護者がいる場合の介護保険の利用状況についてみると、「介護施設等に入所している」と「訪問介護を受けている」が46名中7名となっている。

図表 6.11-4 介護保険の利用状況



訪問介護の回数についてみると、「2回」が7名中4名と最も多く、次いで、「4回以上」が7名中2名となっている。

図表 6.11-5 訪問介護の回数

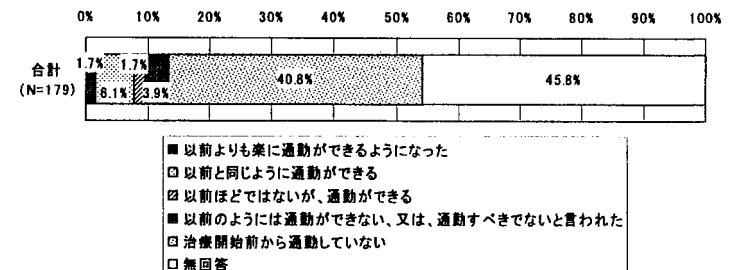


(2) リハビリテーションを始めたときの生活と現在の状況との比較

1) 通動について

通動についてみると、「治療開始前から通動していない」（40.8%）が最も多く、次いで、「以前と同じように通動ができる」（6.1%）となっている。

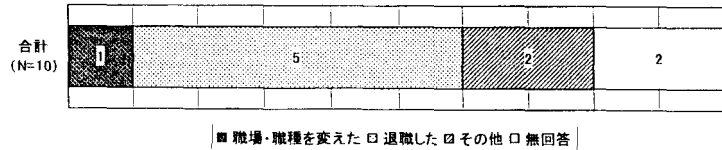
図表 6.11-6 通動について



2) (通勤の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

1)で「以前ほどではないが、通勤ができる」または「以前のように通勤ができない、又は通勤すべきでないと言われた」と回答した患者のうち、通勤の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「退職した」が10名中5名と最も多くなっている。

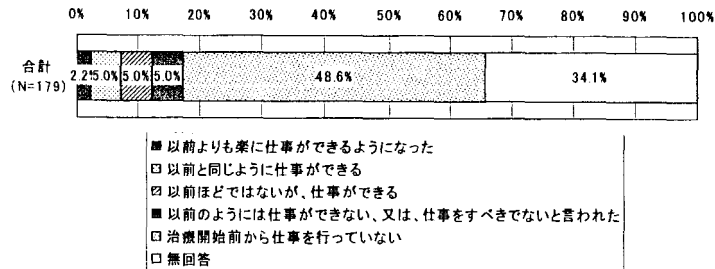
図表 6.11-7 通勤の状況に変化がある場合) 具体的な変化の内容



3) 仕事について

仕事についてみると、「治療開始前から仕事をやっていない」(48.6%)が最も多く、次いで、「以前ほどではないが、仕事ができる」(5.0%)、「以前と同じように仕事ができる」(5.0%)、「以前のように仕事ができない」(5.0%)となっている。

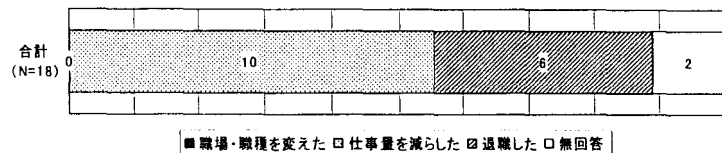
図表 6.11-8 仕事について



4) (仕事の状況に変化がある場合)具体的な変化の内容

3)で「以前ほどではないが、仕事ができる」または「以前のように仕事ができない、又は、仕事をすべきでないと言われた」と回答した患者のうち、仕事の状況に変化がある場合の具体的な変化の内容についてみると、「仕事量を減らした」が18名中10名と最も多くなっている。

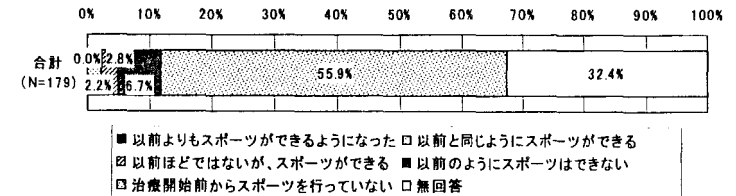
図表 6.11-9 (仕事の状況に変化がある場合) 具体的な変化の内容



5) スポーツについて

スポーツについてみると、「治療開始前からスポーツを行っていない」(55.9%)が最も多く、次いで、「以前のようにスポーツはできない」(6.7%)となっている。

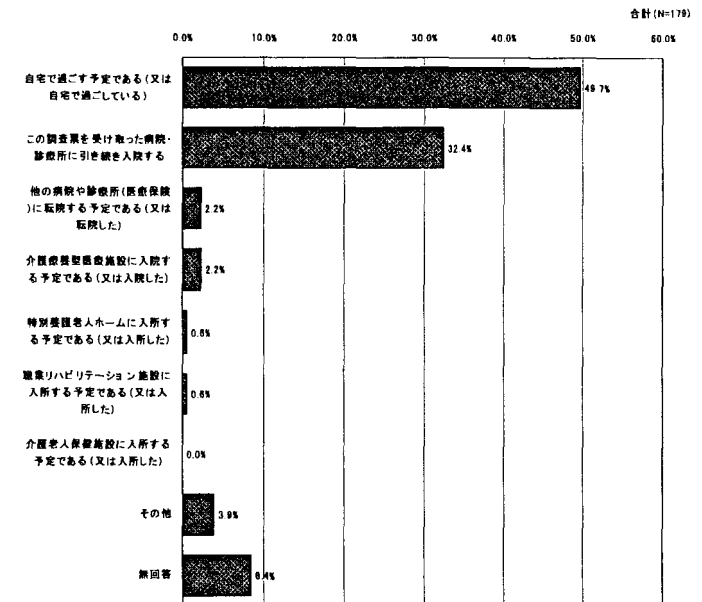
図表 6.11-10 スポーツについて



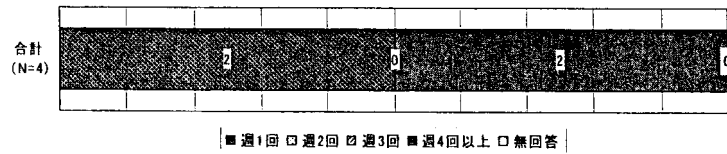
(3) 今後予定している生活場所

今後予定している生活場所(又は現在生活している場所)についてみると、「自宅で過ごす予定である(又は自宅で過ごしている)」(49.7%)が最も多く、次いで、「この調査票を受け取った病院・診療所に引き続き入院する」(32.4%)となっている。

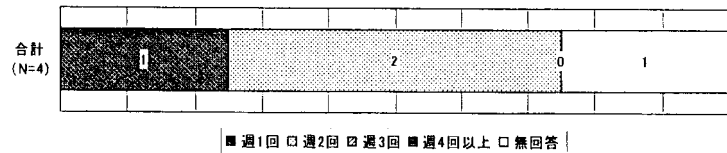
図表 6.11-11 今後予定している生活場所



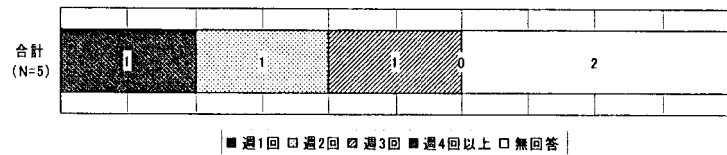
図表 6.11-17 「理学療法士等に訪問してもらいリハビリテーション【医療保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



図表 6.11-18 「理学療法士等に訪問してもらいリハビリテーション【介護保険】を受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



図表 6.11-19 「就労(復職・再就職) や就学(復学)をしながらリハビリテーションを受ける予定である(又は受けている)」としている患者について、その回数



1) (医療保険または介護保険のリハビリテーションを受ける(又は受けている)予定の場合) リハビリテーションに望むこと (複数回答)

リハビリテーションに望むことについてみると、「現在の日常生活の動作や活動を保ちたい(悪くならないようにしたい)」(56.7%)が最も多く、次いで、「もう少し歩けるようになりたい」(42.5%)となっている。

図表 6.11-20 リハビリテーションに望むこと

